

V 調査票

中学校の昼食（給食等）に関するアンケート

横須賀市教育委員会では、現在、市立中学校（23校）の生徒（約10,000人）の昼食（給食等）のあり方について、検討を進めています。
この検討を進めるうえで、皆さんの考えを参考とさせていただくため、アンケート調査を行いますので、ご協力をお願いします。

■ 回答をお願いする「あなた」のことについてお伺いします

問1 あなたの性別についてお聞きします。（下の回答欄に記入してください。）

回答欄	
-----	--

■ 中学校の昼食に対するあなたの考えをお伺いします

基本情報1

現在の横須賀市立の中学校の昼食は以下のとおりです。

- ・「家庭で作った弁当」を持参することが基本
- ・「家庭で作った弁当」を持参できない場合は、学校で当日「業者弁当・パン」の注文が可能（学校によっては、コンビニエンスストアなどで購入したものを持参することも可）
- ・原則全員に牛乳を提供（ミルク給食）

I くだんの中学校での昼食についてお伺いします。

問2 あなたは、くだん、「家庭で作った弁当」をどのくらい持ってきていますか。（あてはまるもの1つに○）

- 1 毎日またはほとんど毎日
- 2 週2～3回
- 3 週1回
- 4 月1回
- 5 持ってこない

1

2

II 横須賀市の中学校の昼食の基本になっている

「家庭で作った弁当」に対するあなたの考えをお伺いします。

問6 「家庭で作った弁当」に関して、あなたが良いと思うことを、以下の項目から2つまで選び、該当する番号に○をしてください。

- 1 普段食べ慣れているものを食べられること（食べ残しが少ない）
- 2 生徒ごとに内容や分量が調整できること（食物アレルギー、個人の食べる量など）
- 3 家族間の会話などコミュニケーションを取るきっかけになること
- 4 作った家族への感謝の心を持つこと
- 5 給食のように生徒自身が盛り付けや後片付けをする必要がないこと
- 6 昼休みや登下校の時間など、生徒の時間割に影響がないこと（※給食の場合、盛り付けや片付けなどの時間が必要になる）
- 7 その他（)
- 8 特にない

問7 「家庭で作った弁当」に関して、あなたが課題だと思うことを、以下の項目から2つまで選び、該当する番号に○をしてください。

- 1 弁当が冷めてしまうこと
- 2 衛生面に不安があること（暑い時期の食中毒など）
- 3 栄養バランスの面で心配なときがあること
- 4 生徒間に違いがあること（※家庭環境により弁当を持参できない、内容が充実していないなど）
- 5 家庭に負担がかかること（弁当を作ることなど）
- 6 生徒に負担がかかること（手荷物が重くなることなど）
- 7 その他（)
- 8 特にない

III 学校で注文できる「業者弁当・パン」についてお伺いします。

問8 学校で注文できる「業者弁当・パン」に関して、あなたが良いと思うことを、以下の項目から2つまで選び、該当する番号に○をしてください。

- 1 複数のメニューから選択できること
- 2 好きなメニューがあること
- 3 自分の食べる量に合っていること
- 4 当日注文できること
- 5 その他（)
- 6 特にない

3

問3 あなたは、くだん、学校で注文できる「業者弁当・パン」をどのくらい利用していますか。（あてはまるもの1つに○）

- 1 毎日またはほとんど毎日
- 2 週2～3回
- 3 週1回
- 4 月1回
- 5 利用しない

問4 あなたは、くだん、コンビニやスーパーなどで購入したおにぎり・弁当・パンなどを持つてくることがどのくらいありますか。（あてはまるもの1つに○）

- 1 毎日またはほとんど毎日
- 2 週2～3回
- 3 週1回
- 4 月1回
- 5 持ってこない

問5 あなたは、くだん、中学校での昼食時間に何も食べないことがありますか。（弁当を持ってきたが体調不良で食べることができない場合などを除く）（あてはまるもの1つに○）

- 1 （何も食べないことは）ない
- 2 月1回（何も食べないことがある）
- 3 週1回（何も食べないことがある）
- 4 週2～3回（何も食べないことがある）
- 5 毎日（何も食べない）

問9 学校で注文できる「業者弁当・パン」に関して、あなたが課題だと思うことを、以下の項目から2つまで選び、該当する番号に○をしてください。

- 1 好きなメニューがないこと
- 2 食べる量が自分に合っていないこと
- 3 栄養バランスの面で不安なこと
- 4 値段が高いこと
- 5 何となく注文しづらいこと
- 6 その他（)
- 7 特にない

基本情報2

中学校の昼食に関して、他の自治体（市・町）では、「小学校のような給食」の方式で提供しているところもあります。

ここで言う「小学校のような給食」の方式とは、以下のとおりです。

- ・学校や教育委員会の栄養士が献立を作成する
- ・学校や給食センター（給食を大量に作る施設）で調理される
- ・食缶（クラス全員分の給食が入った容器）で教室まで運搬される
- ・生徒自身が教室で、皿に盛り付ける
- ・原則、全員が同じ食事内容

IV 「小学校のような給食」の方式（※中学校で実施した場合）に対する、

あなたの考えをお伺いします。

問10 「小学校のような給食」の方式について、あなたが良いと思うことを、以下の項目から2つまで選び、該当する番号に○をしてください。

- 1 適温（温かい・冷たい）で給食が提供されること
- 2 衛生面の不安が少ないこと
- 3 栄養バランスの整った給食が提供されること
- 4 給食が平等に提供されること
- 5 家庭に負担がかからないこと（弁当を作ることなど）
- 6 盛り付けなどの共同作業を通じて、協調性が養われること
- 7 食育（食に関する知識や健全な食事のとり方など）に関心を持つようになること
- 8 その他（)
- 9 特にない

4

- 問11 「小学校のような給食」の方式について、あなたが課題だと思うことを、以下の項目から2つまで選び、該当する番号に○をしてください。
- 1 苦手なものを食べなければならぬこと（食べ残しが多くなる）
 - 2 生徒ごとに内容や分量を調整するのが難しいこと（食物アレルギー、個人の食べる量など）
 - 3 盛り付けや後片付けをする必要があること
 - 4 昼休みや登下校の時間など、生徒の時間割に影響が出る可能性があること（※盛り付けや片付けなどの時間が必要となるため）
 - 5 給食費に関する問題が生じる可能性があること（未払い、支払い方法など）
 - 6 もしも食中毒などが起きた場合、影響が大きくなる可能性があること
 - 7 現在の「業者弁当・パン」が注文できなくなること
 - 8 その他（ ）
 - 9 特になし

基本情報3

中学校の昼食に関して、他の自治体（市・町）では、「家庭で作った弁当」を持参する以外に、「弁当箱タイプの給食」をたのむことができます。（※「家庭で作った弁当」か「弁当箱タイプの給食」のどちらかを選びます。）

「弁当箱タイプの給食」とは以下のとおりです。

- ・栄養委員会の栄養士が献立を作成する
- ・給食を調理する施設で調理された弁当（一人分ずつ弁当箱で提供される）
- ・インターネットなどから予約が必要で、給食費は前払い

【弁当箱と汁物入れ（イメージ）】



V 「弁当箱タイプの給食」の方式（※中学校で実施した場合）に対する、あなたの考えをお伺いします。

- 問12 「弁当箱タイプの給食」について、あなたが良いと思うことを、以下の項目から2つまで選び、該当する番号に○をしてください。
- 1 「家庭で作った弁当」と選択できること
 - 2 ごはんや汁物は、適温（温かい・冷たい）で提供されること
 - 3 衛生面の不安が少ないこと
 - 4 栄養バランスの整った給食が提供されること
 - 5 家庭に負担がかからないこと（弁当を作るなど）
 - 6 昼休みや登下校の時間など、生徒の時間割に影響が少ないこと（※「弁当箱タイプの給食」の場合、盛り付けの時間がない）
 - 7 食育（食に関する知識や健全な食事のとり方など）に関心を持つようになること
 - 8 その他（ ）
 - 9 特になし

5

保護者用(中)

中学校の昼食（給食等）に関するアンケート

横須賀市教育委員会では、現在、市立中学校（23校）の生徒（約10,000人）の昼食（給食等）のあり方について、検討を進めています。

この検討を進めるうえで、中学校の昼食（給食等）に対する保護者の皆さまの考えをお伺いするため、アンケート調査を実施いたします。つきましては、お忙しい所、恐縮に存じますが、ご協力をお願いいたします。

記入後、お子さんを通じて、9月9日（水）までに学校へご提出ください。（※送付しました封筒に入れて、提出してください。）

■ 回答をお願いする「あなた」のこのことについてお伺いします

- 問1 このアンケートを持ち帰ったお子さん（以下「お子さん」といいます。）の性別についてお聞きします。（下の回答欄に記入してください。）

回答欄	
-----	--

- 問2 お子さんとお父さんとの関係についてお聞きします。（あてはまるもの1つに○）

- 1 父 2 母 3 その他（ ）

- 問3 あなたの年齢についてお聞きします。（あてはまるもの1つに○）

- 1 10歳代 2 20歳代 3 30歳代 4 40歳代
5 50歳代 6 60歳代 7 70歳代以上

- 問4 あなたの職業についてお聞きします。（あてはまるもの1つに○）

- 1 勤めている（フルタイム）
2 勤めている（パートタイム）
3 家事専業
4 その他（ ）

- 問5 あなたの今のお住まいには、小学生や未就学児がいらっしゃるかどうか。（あてはまるもの1つに○）

- 1 いる 2 いない

1

- 問13 「弁当箱タイプの給食」について、あなたが課題だと思うことを、以下の項目から2つまで選び、該当する番号に○をしてください。

- 1 おかずは、適温（温かい・冷たい）での提供が難しいこと
- 2 苦手なものを食べなければならぬこと（食べ残しが多くなる）
- 3 生徒ごとに内容や分量の調整ができないこと（食物アレルギー、個人の食べる量など）
- 4 予約、前払いが必要なこと（当日の注文ができない）
- 5 もしも食中毒などが起きた場合、影響が大きくなる可能性があること
- 6 現在の「業者弁当・パン」が注文できなくなること
- 7 その他（ ）
- 8 特になし

- 問14 もし、「弁当箱タイプの給食」（予約、前払い）を実施するとしたら、あなたは「弁当箱タイプの給食」を注文しますか。（注文しない場合は「家庭で作った弁当」を持参する）以下の項目から1つ選び、該当する番号に○をしてください。

- 1 毎日注文する
- 2 時々注文する
- 3 ほとんど注文しない
- 4 注文しない

VI 中学校の昼食方式に対する、あなたの考えをお伺いします。

- 問15 中学校の昼食として、あなたが良いと思う方式を、以下の項目から1つ選び、該当する番号に○をしてください。
- 1 現在の方式（ミルク給食で、「家庭で作った弁当」と「業者弁当・パン」（当日注文）のどちらか）
 - 2 「小学校のような給食」の方式
 - 3 「弁当箱タイプの給食」（予約・前払い）と「家庭で作った弁当」を併用する方式
 - 4 その他（ ）

自由記入欄（中学校での昼食についてご意見などあれば自由にお書きください。）

ご協力ありがとうございました。

6

■ 中学校の昼食に対するあなたの考えをお伺いします

基本情報1

現在の横須賀市立の中学校の昼食は以下のとおりです。

- ・「家庭で作った弁当」を持参することが基本
- ・「家庭で作った弁当」を持参できない場合は、学校で当日「業者弁当・パン」の注文が可能（学校によっては、コンビニエンスストアなどで購入したものを持参することも可）
- ・原則全員に牛乳を提供（ミルク給食）

I 横須賀市の中学校の昼食の基本になっている

「家庭で作った弁当」に対するあなたの考えをお伺いします。

- 問6 あなたは、どのくらいの頻度で「家庭で作った弁当」をお子さんに持たせていますか。以下の項目から1つ選び、該当する番号に○をしてください。

- 1 毎日またはほとんど毎日
- 2 週2～3回
- 3 週1回
- 4 月1回
- 5 持たせていない

- 問7 あなたは、「家庭で作った弁当」を作ることへの負担についてどう感じていますか。以下の項目から1つ選び、該当する番号に○をしてください。

- 1 大変負担である
- 2 どちらかという負担である
- 3 あまり負担とは感じない
- 4 負担ではない
- 5 その他（ ）

2

- 問8 「家庭で作った弁当」に関して、あなたが良いと思うことを、以下の項目から2つまで選び、該当する番号に○をしてください。
- 1 生徒が、普段食べ慣れているものを食べられること（食べ残しが少ない）
 - 2 生徒ごとに内容や分量が調整できること（食物アレルギー、個人の食べる量など）
 - 3 家族間の会話などコミュニケーションを取るきっかけになること
 - 4 生徒が、作った家族への感謝の心を持つこと
 - 5 給食のように生徒自身が盛り付けや後片付けをする必要がないこと
 - 6 昼休みや登下校の時間など、生徒の時間割に影響がないこと（※給食の場合、盛り付けや片付けの時間が必要になる）
 - 7 その他（)
 - 8 特になし

- 問9 「家庭で作った弁当」に関して、あなたが課題だと思うことを、以下の項目から2つまで選び、該当する番号に○をしてください。
- 1 弁当が冷めてしまうこと
 - 2 衛生面に不安があること（暑い時期の食中毒など）
 - 3 栄養バランスの面で心配なときがあること
 - 4 生徒間に違いがあること（※家庭環境により弁当が持参できない、内容が充実していないなど）
 - 5 家庭に負担がかかること（弁当を作ることなど）
 - 6 生徒に負担がかかること（手荷物が重くなることなど）
 - 7 その他（)
 - 8 特になし

II 学校で注文できる「業者弁当・パン」に対するあなたの考えをお伺いします。

- 問10 お子さんは、ふだん、どのくらい学校で注文できる「業者弁当・パン」を利用していますか。（あてはまるもの1つに○）
- 1 毎日またはほとんど毎日
 - 2 週2～3回
 - 3 週1回
 - 4 月1回
 - 5 利用しない

3

III 「小学校のような給食」の方式（※中学校で実施した場合）に対する、あなたの考えをお伺いします。

- 問13 「小学校のような給食」の方式について、あなたが良いと思うことを、以下の項目から2つまで選び、該当する番号に○をしてください。
- 1 適温（温かい・冷たい）で昼食が提供されること
 - 2 衛生面の不安が少ないこと
 - 3 栄養バランスの整った昼食が提供されること
 - 4 昼食が平等に提供されること
 - 5 家庭に負担がかからないこと（弁当を作ることなど）
 - 6 盛り付けなどの共同作業を通じて、生徒の協調性が養われること
 - 7 生徒が、食育（食に関する知識や健全な食事のとり方など）に関心を持つようになること
 - 8 その他（)
 - 9 特になし

- 問14 「小学校のような給食」の方式について、あなたが課題だと思うことを、以下の項目から2つまで選び、該当する番号に○をしてください。
- 1 生徒が、苦手なものを食べなければならないこと（食べ残しが多くなる）
 - 2 生徒ごとに内容や分量を調整するのが難しいこと（食物アレルギー、個人の食べる量など）
 - 3 生徒が、盛り付けや後片付けをする必要があること
 - 4 昼休みや登下校の時間など、生徒の時間割に影響が出る可能性があること（※盛り付けや片付けなどの時間が必要となるため）
 - 5 給食費に関する問題が生じる可能性があること（未払い、支払い方法など）
 - 6 もしも食中毒などが起きた場合、影響が大きくなる可能性があること
 - 7 現在の「業者弁当・パン」が注文できなくなること
 - 8 その他（)
 - 9 特になし

5

- 問11 学校で注文できる「業者弁当・パン」に関して、あなたが良いと思うことを、以下の項目から2つまで選び、該当する番号に○をしてください。
- 1 複数のメニューから選択できること
 - 2 子どもの好きなメニューがあること
 - 3 子どもの食べる量に合っていること
 - 4 当日注文できること
 - 5 その他（)
 - 6 特になし

- 問12 学校で注文できる「業者弁当・パン」に関して、あなたが課題だと思うことを、以下の項目から2つまで選び、該当する番号に○をしてください。
- 1 子どもの好きなメニューがないこと
 - 2 食べる量が子どもに合っていないこと
 - 3 栄養バランスの面で不安なこと
 - 4 値段が高いこと
 - 5 子どもが何となく注文しづらいこと
 - 6 その他（)
 - 7 特になし

基本情報2

中学校の昼食に関して、他の自治体（市・町）では、「小学校のような給食」の方式で提供しているところもあります。

ここで言う「小学校のような給食」の方式とは、以下のとおりです。

- ・学校や教育委員会の栄養士が献立を作成する
- ・学校や給食センター（給食を大量に作る施設）で調理される
- ・食缶（クラス全員分の給食が入った容器）で教室まで運搬される
- ・生徒自身が教室で、皿に盛り付ける
- ・原則、全員が同じ食事内容

4

基本情報3

中学校の昼食に関して、他の自治体（市・町）では、「家庭で作った弁当」を持参する以外に、「弁当箱タイプの給食」をたのむことができます。【※「家庭で作った弁当」か「弁当箱タイプの給食」のどちらかを選びます。】

「弁当箱タイプの給食」とは以下のとおりです。

- ・教育委員会の栄養士が献立を作成する
- ・給食を調理する施設で調理された弁当（一人分ずつ弁当箱で提供される）
- ・インターネットなどから予約が必要で、給食費は前払い

【弁当箱と汁入れ（イメージ）】



IV 「弁当箱タイプの給食」の方式（※中学校で実施した場合）に対する、あなたの考えをお伺いします。

- 問15 「弁当箱タイプの給食」について、あなたが良いと思うことを、以下の項目から2つまで選び、該当する番号に○をしてください。
- 1 「家庭で作った弁当」と選択できること
 - 2 ごはんや汁物は、適温（温かい・冷たい）が提供されること
 - 3 衛生面の不安が少ないこと
 - 4 栄養バランスの整った昼食が提供されること
 - 5 家庭に負担がかからないこと（弁当を作ることなど）
 - 6 昼休みや登下校の時間など、生徒の時間割に影響が少ないこと（※「弁当箱タイプの給食」の場合、盛り付けの時間がない）
 - 7 生徒が、食育（食に関する知識や健全な食事のとり方など）に関心を持つようになること
 - 8 その他（)
 - 9 特になし

- 問16 「弁当箱タイプの給食」について、あなたが課題だと思うことを、以下の項目から2つまで選び、該当する番号に○をしてください。
- 1 おかずは、適温（温かい・冷たい）での提供が難しいこと
 - 2 生徒が、苦手なものを食べなければならないこと（食べ残しが多くなる）
 - 3 生徒ごとに内容や分量の調整ができないこと（食物アレルギー、個人の食べる量など）
 - 4 予約、前払いが必要なこと（当日の注文ができない）
 - 5 もしも食中毒などが起きた場合、影響が大きくなる可能性があること
 - 6 現在の「業者弁当・パン」が注文できなくなること
 - 7 その他（)
 - 8 特になし

6

問17 もし「弁当箱タイプの給食」（予約、前払い）を実施するとしたら、「弁当箱タイプの給食」を注文しますか。（注文しない場合は、「家庭で作った弁当」を持参する。）
以下の項目から1つ選び、該当する番号に○をしてください。

- 1 毎日注文する
- 2 時々注文する
- 3 ほとんど注文しない
- 4 注文しない

V 中学校の昼食方式に対する、あなたの考えをお伺いします。

問18 中学校の昼食として、あなたが良いと思う方式を、以下の項目から1つ選び、該当する番号に○をしてください。
なお、選択肢2および3については、下の枠内に参考情報を掲載しています。

- 1 現在の方式
(ミルク給食で、「家庭で作った弁当」と「業者弁当・パン」(当日注文)のどちらか)
- 2 「小学校のような給食」の方式
- 3 「弁当箱タイプの給食」(予約、前払い)と「家庭で作った弁当」を併用する方式
- 4 その他 ()

《参考情報》

- 1 全国における中学校完全給食の実施率（平成25年5月1日時点の公立中学校）
86.0%（※「小学校のような給食」と「弁当箱タイプの給食」を合わせた実施率）
- 2 保護者が負担する給食費
選択肢2または3を実施した場合、保護者が負担する給食費は、1食あたり300円程度（牛乳代込）を想定しています。（就学援助に認定された場合などは減免措置があります。）
- 3 中学校完全給食を実施する場合に必要な市の経費（試算）

実施方法		初期整備費	年間運営費
選択肢2	小学校のような給食		
	①中学校に給食室を作る場合	約96億円	約5.9億円
	②給食センターを作る場合	約71億円	約5.2億円
	③小学校の給食室を拡張する場合	約44億円	約6.3億円
選択肢3	弁当箱タイプの給食	約3億円	約4.2億円

※①～③はいずれも「小学校のような給食」を実施するための方式です。
※「弁当箱タイプの給食」は注文率が50%の場合の試算です。（注文率により金額が変わります。）
※必要経費は他都市の事例等を参考にした現時点での試算額です。実施する場合には、可能な限り費用を抑えるための検討をさせていただきます。
※①と②の初期整備費の一部は、国の補助金の対象となることを想定しています。
(①約6億円 ②約5億円)

保護者用(小)

中学校の昼食（給食等）に関するアンケート

横須賀市教育委員会では、現在、市立中学校（23校）の生徒（約10,000人）の昼食（給食等）のあり方について、検討を進めています。
この検討を進めるうえで、中学校の昼食（給食等）に対する保護者の皆さまの考えをお伺いするため、アンケート調査を実施いたします。つきましては、お忙しい所、恐縮に存じますが、ご協力をお願いいたします。
記入後、お子さんを通じて、9月9日（水）までに学校へご提出ください。
（※送付しました封筒に入れて、提出してください。）

■ 回答をお願いする「あなた」のこのことについてお伺いします

問1 このアンケートを持ち帰ったお子さん（以下「お子さん」といいます。）の性別についてお聞きします。（下の回答欄に記入してください。）

回答欄

問2 お子さんとあなたの関係についてお聞きします。（あてはまるもの1つに○）

- 1 父 2 母 3 その他 ()

問3 あなたの年齢についてお聞きします。（あてはまるもの1つに○）

- 1 10歳代 2 20歳代 3 30歳代 4 40歳代
5 50歳代 6 60歳代 7 70歳代以上

問4 あなたの職業についてお聞きします。（あてはまるもの1つに○）

- 1 勤めている（フルタイム）
2 勤めている（パートタイム）
3 家事専業
4 その他 ()

問5 あなたの今のお住まいには、中学生以上の子供がいらっしゃいますか。（あてはまるもの1つに○）

- 1 いる 2 いない

VI 中学校給食に対する、あなたの考えをお伺いします。

問19 横須賀市では現在、中学校では牛乳のみの給食で、完全給食（「小学校のような給食」や「弁当箱タイプの給食」）は実施していません。
あなたは、横須賀市の中学校での完全給食の実施についてどのように考えますか。（あてはまるもの1つに○）

- 1 実施すべき
- 2 費用面や他の事業との優先順位を考慮して、実施するか決定すべき
- 3 実施すべきでない（ミルク給食のままでよい）
- 4 わからない
- 5 その他 ()

自由記入欄

ご協力ありがとうございました。

■ 中学校の昼食に対するあなたの考えをお伺いします

基本情報1
現在の横須賀市立の中学校の昼食は以下のとおりです。

- ・「家庭で作った弁当」を持参することが基本
- ・「家庭で作った弁当」を持参できない場合は、学校で当日「業者弁当・パン」の注文が可能（学校によっては、コンビニエンスストアなどで購入したものを持参することも可）
- ・原則全員に牛乳を提供（ミルク給食）

I 横須賀市の中学校の昼食の基本になっている

「家庭で作った弁当」に対するあなたの考えをお伺いします。

問6 あなたは、「家庭で作った弁当」を作ることの負担についてどう考えていますか。
以下の項目から1つ選び、該当する番号に○をしてください。

- 1 大変負担になると思う
- 2 どちらかというと負担になると思う
- 3 あまり負担とは感じないと思う
- 4 負担ではないと思う
- 5 その他 ()

問7 「家庭で作った弁当」に関して、あなたが良いと思うことを、以下の項目から2つまで選び、該当する番号に○をしてください。

- 1 生徒が、普段食べ慣れているものを食べられること（食べ残しが少ない）
- 2 生徒ごとに内容や分量が調整できること（食物アレルギー、個人の食べる量など）
- 3 家族間の会話などコミュニケーションを取るきっかけになること
- 4 生徒が、作った家族への感謝の心を持つこと
- 5 給食のように生徒自身が盛り付けや後片付けをする必要がないこと
- 6 昼休みや登下校の時間など、生徒の時間割に影響がないこと
(※給食の場合、盛り付けや片付けのなど時間が必要になる)
- 7 その他 ()
- 8 特になし

問8 「家庭で作った弁当」に関して、あなたが課題だと思うことを、以下の項目から2つまで選び、該当する番号に○をしてください。

- 1 弁当が冷めてしまうこと
- 2 衛生面に不安があること（暑い時期の食中毒など）
- 3 栄養バランスの面で心配なときがあること
- 4 生徒間に違いがあること
（※家庭環境により弁当が持参できない、内容が充実していないなど）
- 5 家庭に負担がかかること（弁当を作ることなど）
- 6 生徒に負担がかかること（手荷物が重くなることなど）
- 7 その他（)
- 8 特になし

基本情報2

中学校の昼食に関して、他の自治体（市・町）では、「小学校のような給食」の方式で提供しているところもあります。

ここで言う「小学校のような給食」の方式とは、以下のとおりです。

- ・学校や教育委員会の栄養士が献立を作成する
- ・学校や給食センター（給食を大量に作る施設）で調理される
- ・食缶（クラス全員分の給食が入った容器）で教室まで運搬される
- ・生徒自身が教室で、皿に盛り付ける
- ・原則、全員が同じ食事内容

II 「小学校のような給食」の方式（※中学校で実施した場合）に対する、あなたの考えをお伺いします。

問9 「小学校のような給食」の方式について、あなたが良いと思うことを、以下の項目から2つまで選び、該当する番号に○をしてください。

- 1 適温（温かい・冷たい）で昼食が提供されること
- 2 衛生面の不安が少ないこと
- 3 栄養バランスの整った昼食が提供されること
- 4 昼食が平等に提供されること
- 5 家庭に負担がかからないこと（弁当を作ることなど）
- 6 盛り付けなどの共同作業を通じて、生徒の協調性が養われること
- 7 食育（食に関する知識や健全な食事のとり方など）に関心を持つようになること
- 8 その他（)
- 9 特になし

3

問12 「弁当箱タイプの給食」について、あなたが課題だと思うことを、以下の項目から2つまで選び、該当する番号に○をしてください。

- 1 おかずは、適温（温かい・冷たい）での提供が難しいこと
- 2 生徒が、苦手なものを食べなければならないこと（食べ残しが多くなる）
- 3 生徒ごとに内容や分量の調整ができないこと（食物アレルギー、個人の食べる量など）
- 4 予約、前払いが必要なこと（当日の注文ができない）
- 5 もしも食中毒などが起きた場合、影響が大きくなる可能性があること
- 6 現在の「業者弁当・パン」が注文できなくなること
- 7 その他（)
- 8 特になし

問13 もし「弁当箱タイプの給食」（予約、前払い）を実施するとしたら、「弁当箱タイプの給食」を注文しますか。（注文しない場合は、「家庭で作った弁当」を持参する。）以下の項目から1つを選び、該当する番号に○をしてください。

- 1 毎日注文する
- 2 時々注文する
- 3 ほとんど注文しない
- 4 注文しない

5

問10 「小学校のような給食」の方式について、あなたが課題だと思うことを、以下の項目から2つまで選び、該当する番号に○をしてください。

- 1 生徒が、苦手なものを食べなければならないこと（食べ残しが多くなる）
- 2 生徒ごとに内容や分量を調整するのが難しいこと（食物アレルギー、個人の食べる量など）
- 3 生徒自身が盛り付けや後片付けをする必要があること
- 4 昼休みや登下校の時間など、生徒の時間割に影響が出る可能性があること（※盛り付けや片付けなどの時間が必要となるため）
- 5 給食費に関する問題が生じる可能性があること（未払い、支払い方法など）
- 6 もしも食中毒などが起きた場合、影響が大きくなる可能性があること
- 7 現在の「業者弁当・パン」が注文できなくなること
- 8 その他（)
- 9 特になし

基本情報3

中学校の昼食に関して、他の自治体（市・町）では、「家庭で作った弁当」を持参する以外に、「弁当箱タイプの給食」をたのむことができます。また、（※「家庭で作った弁当」か「弁当箱タイプの給食」のどちらかを選びます。）

「弁当箱タイプの給食」とは以下のとおりです。

- ・教育委員会の栄養士が献立を作成する
- ・給食を調理する施設で調理された弁当（一人分ずつ弁当箱で提供される）
- ・インターネットなどから予約が必要で、給食費は前払い

【弁当箱と汁物入れ（イメージ）】



III 「弁当箱タイプの給食」の方式（※中学校で実施した場合）に対する、あなたの考えをお伺いします。

問11 「弁当箱タイプの給食」について、あなたが良いと思うことを、以下の項目から2つまで選び、該当する番号に○をしてください。

- 1 「家庭で作った弁当」と選択できること
- 2 ごはんや汁物は、適温（温かい・冷たい）が提供されること
- 3 衛生面の不安が少ないこと
- 4 栄養バランスの整った昼食が提供されること
- 5 家庭に負担がかからないこと（弁当を作ることなど）
- 6 昼休みや登下校の時間など、生徒の時間割に影響が少ないこと（※「弁当箱タイプの給食」の場合、盛り付けの時間がない）
- 7 生徒が、食育（食に関する知識や健全な食事のとり方など）に関心を持つようになること
- 8 その他（)
- 9 特になし

4

IV 中学校の昼食方式に対する、あなたの考えをお伺いします。

問14 中学校の昼食として、あなたが良いと思う方式を、以下の項目から1つを選び、該当する番号に○をしてください。
なお、選択肢2および3については、下の枠内に参考情報を掲載しています。

- 1 現在の方式
（ミルク給食で、「家庭で作った弁当」と「業者弁当・パン」（当日注文）のどちらか）
- 2 「小学校のような給食」の方式
- 3 「弁当箱タイプの給食」（予約・前払い）と「家庭で作った弁当」を併用する方式
- 4 その他（)

《参考情報》

1 全国における中学校完全給食の実施率（平成25年5月1日時点の公立中学校）
86.0%（※「小学校のような給食」と「弁当箱タイプの給食」を合わせた実施率）

2 保護者が負担する給食費
選択肢2または3を実施した場合、保護者が負担する給食費は、1食あたり300円程度（牛乳代込）を想定しています。（就学援助に認定された場合などは減免措置があります。）

3 中学校完全給食を実施する場合に必要な市の経費（試算）

実施方法		初期整備費	年間運営費
選択肢2	小学校のような給食	①中学校に給食室を作る場合	約96億円 約5.9億円
		②給食センターを作る場合	約71億円 約5.2億円
		③小学校の給食室を拡張する場合	約44億円 約6.8億円
選択肢3	弁当箱タイプの給食	約3億円	約4.2億円

※①～③はいずれも「小学校のような給食」を実施するための方式です。
※「弁当箱タイプの給食」は注文率が50%の場合の試算です。（注文率により金額が変わります。）
※必要経費は他都市の事例等を参考にした現時点での試算額です。実施する場合には、可能な限り費用を抑えるための検討をしていきます。
※①と②の初期整備費の一部は、国の補助金の対象となることを想定しています。
（①約6億円 ②約5億円）

6

基本情報 2

中学校の昼食に関して、他の自治体（市・町）では、「小学校のような給食」の方式で提供しているところもあります。

ここで言う「小学校のような給食」の方式とは、以下のとおりです。

- ・学校や教育委員会の栄養士が献立を作成する
- ・学校や給食センター（給食を大量に作る施設）で調理される
- ・食缶（クラス全員分の給食が入った容器）で教室まで運搬される
- ・生徒自身が教室で、皿に盛り付ける
- ・原則、全員が同じ食事内容

III 「小学校のような給食」の方式（※中学校で実施した場合）に対する、あなたの考えをお伺いします。

問6 「小学校のような給食」の方式について、あなたが良いと思うことを、以下の項目から2つまで選び、該当する番号に○をしてください。

- 1 適温（温かい・冷たい）で昼食が提供されること
- 2 衛生面の不安が少ないこと
- 3 栄養バランスの整った昼食が提供されること
- 4 昼食が平等に提供されること
- 5 家庭に負担がかからないこと（弁当を作ることなど）
- 6 盛り付けなどの共同作業を通じて、生徒の協調性が養われること
- 7 生徒が、食育（食に関する知識や健全な食事のとり方など）に関心を持つようになること
- 8 その他（ ）
- 9 特になし

問7 「小学校のような給食」の方式について、あなたが課題だと思うことを、以下の項目から2つまで選び、該当する番号に○をしてください。

- 1 生徒が、苦手なものを食べなければならないこと（食べ残しが多くなる）
- 2 生徒ごとに内容や分量を調整するのが難しいこと（食物アレルギー、個人の食べる量など）
- 3 生徒が、盛り付けや後片付けをする必要があること
- 4 昼休みや登下校の時間など、学校の時刻に影響が出る可能性があること（※盛り付けや片付けなどの時間が必要となるため）
- 5 給食費に関する問題が生じる可能性があること（未払い、支払い方法など）
- 6 もしも食中毒などが起きた場合、影響が大きくなる可能性があること
- 7 現在の「業者弁当・パン」が注文できなくなること
- 8 その他（ ）
- 9 特になし

3

V 中学校の昼食方式に対する、あなたの考えをお伺いします。

問10 中学校の昼食として、あなたが良いと思う方式を、以下の項目から1つ選び、該当する番号に○をしてください。
なお、選択肢2および3については、下の枠内に参考情報を掲載しています。

- 1 現在の方式
（ミルク給食で、「家庭で作った弁当」と「業者弁当・パン」（当日注文）のどちらか）
- 2 「小学校のような給食」の方式
- 3 「弁当箱タイプの給食」（予約、前払い）と「家庭で作った弁当」を併用する方式
- 4 その他（ ）

【参考情報】

- 1 全国における中学校完全給食の実施率（平成25年5月1日時点の公立中学校）
86.0%（※「小学校のような給食」と「弁当箱タイプの給食」を合わせた実施率）
- 2 保護者が負担する給食費
選択肢2または3を実施した場合、保護者が負担する給食費は、1食あたり300円程度（牛乳代込）を想定しています。（就学援助に認定された場合などは減免措置があります。）
- 3 中学校完全給食を実施する場合に必要な市の経費（試算）

実施方法	初期整備費	年間運営費
選択肢2 小学校のような給食	①中学校に給食室を作る場合	約96億円 約5.9億円
	②給食センターを作る場合	約71億円 約5.2億円
	③小学校の給食室を拡張する場合	約44億円 約6.8億円
選択肢3 弁当箱タイプの給食	約3億円	約4.2億円

※①～③はいずれも「小学校のような給食」を実施するための方式です。
※「弁当箱タイプの給食」は注文率が50%の現場での試算です。（注文率により金額が変わります。）
※必要経費は他都市の事例等を参考にした現時点での試算額です。実施する場合には、可能な限り費用を抑えるための検討をしていきます。
※①と②の初期整備費の一部は、国の補助金の対象となることを想定しています。
（①約6億円 ②約5億円）

5

基本情報 3

中学校の昼食に関して、他の自治体（市・町）では、「家庭で作った弁当」を持参する以外に、「弁当箱タイプの給食」をたのむことができます。
（※「家庭で作った弁当」か「弁当箱タイプの給食」のどちらかを選びます。）

「弁当箱タイプの給食」とは以下のとおりです。

- ・教育委員会の栄養士が献立を作成する
- ・給食を調理する施設で調理された弁当（一人分ずつ弁当箱で提供される）
- ・インターネットなどから予約が必要で、給食費は前払い

【弁当箱と汁物入れ（イメージ）】



IV 「弁当箱タイプの給食」の方式（※中学校で実施した場合）に対する、あなたの考えをお伺いします。

問8 「弁当箱タイプの給食」について、あなたが良いと思うことを、以下の項目から2つまで選び、該当する番号に○をしてください。

- 1 「家庭で作った弁当」と選択できること
- 2 ごはんや汁物は、適温（温かい・冷たい）で提供されること
- 3 衛生面の不安が少ないこと
- 4 栄養バランスの整った昼食が提供されること
- 5 家庭に負担がかからないこと（弁当を作ることなど）
- 6 昼休みや登下校の時間など、学校の時刻に影響が少ないこと（※「弁当箱タイプの給食」の場合、盛り付けの時間がない）
- 7 生徒が、食育（食に関する知識や健全な食事のとり方など）に関心を持つようになること
- 8 その他（ ）
- 9 特になし

問9 「弁当箱タイプの給食」について、あなたが課題だと思うことを、以下の項目から2つまで選び、該当する番号に○をしてください。

- 1 おかずは、適温（温かい・冷たい）での提供が難しいこと
- 2 生徒が、苦手なものを食べなければならないこと（食べ残しが多くなる）
- 3 生徒ごとに内容や分量の調整ができないこと（食物アレルギー、個人の食べる量など）
- 4 予約、前払いが必要なこと（当日の注文ができない）
- 5 もしも食中毒などが起きた場合、影響が大きくなる可能性があること
- 6 現在の「業者弁当・パン」が注文できなくなること
- 7 その他（ ）
- 8 特になし

4

VI 中学校給食に対する、あなたの考えをお伺いします。

問11 横須賀市では現在、中学校では牛乳のみの給食で、完全給食（「小学校のような給食」や「弁当箱タイプの給食」）は実施していません。
あなたは、横須賀市の中学校での完全給食の実施についてどのように考えますか。
（あてはまるもの1つに○）

- 1 実施すべき
- 2 費用面や他の事業との優先順位を考慮して、実施するか決定すべき
- 3 実施すべきでない（ミルク給食のままでよい）
- 4 わからない
- 5 その他（ ）

問12 仮に「小学校のような給食」または「弁当箱タイプの給食」を実施した場合、現在の昼食と比較して、どのような影響があると思いますか。
（それぞれの場合について、あてはまるもの1つに○）

- (1) 生徒の健康の保持増進につながる。
【小学校のような給食の場合】 1 そう思う 2 思わない 3 どちらともいえない
【弁当箱タイプの給食の場合】 1 そう思う 2 思わない 3 どちらともいえない
- (2) 生徒が食育（食に関する知識や健全な食事のとり方など）について、今よりも関心を持つ。
【小学校のような給食の場合】 1 そう思う 2 思わない 3 どちらともいえない
【弁当箱タイプの給食の場合】 1 そう思う 2 思わない 3 どちらともいえない
- (3) 給食の準備や片付けを通じて、生徒の協調性などが養われる。
【小学校のような給食の場合】 1 そう思う 2 思わない 3 どちらともいえない
【弁当箱タイプの給食の場合】 1 そう思う 2 思わない 3 どちらともいえない
- (4) 同じ食事をとることで、生徒の仲間意識が養われる。
【小学校のような給食の場合】 1 そう思う 2 思わない 3 どちらともいえない
【弁当箱タイプの給食の場合】 1 そう思う 2 思わない 3 どちらともいえない
- (5) 弁当を持参できない生徒にバランスの良い食事を提供できる。
【小学校のような給食の場合】 1 そう思う 2 思わない 3 どちらともいえない
【弁当箱タイプの給食の場合】 1 そう思う 2 思わない 3 どちらともいえない
- (6) 給食を活用した教科の学習が深められる。
【小学校のような給食の場合】 1 そう思う 2 思わない 3 どちらともいえない
【弁当箱タイプの給食の場合】 1 そう思う 2 思わない 3 どちらともいえない

6

- (7) 給食の準備や後片付けに時間がかかるため、時間割への影響が大きい。
 【小学校のような給食の場合】 1 そう思う 2 思わない 3 どちらともいえない
 【弁当箱タイプの給食の場合】 1 そう思う 2 思わない 3 どちらともいえない
- (8) 給食になると給食指導に加え、生徒指導の負担も増える。
 【小学校のような給食の場合】 1 そう思う 2 思わない 3 どちらともいえない
 【弁当箱タイプの給食の場合】 1 そう思う 2 思わない 3 どちらともいえない
- (9) 食べ残しなど（給食のごみ）の処理が課題となる。
 【小学校のような給食の場合】 1 そう思う 2 思わない 3 どちらともいえない
 【弁当箱タイプの給食の場合】 1 そう思う 2 思わない 3 どちらともいえない
- (10) 学校給食費の徴収など教職員の負担が増える。
 【小学校のような給食の場合】 1 そう思う 2 思わない 3 どちらともいえない
 【弁当箱タイプの給食の場合】 1 そう思う 2 思わない 3 どちらともいえない
- (11) 食物アレルギーへの対応が課題となる。
 【小学校のような給食の場合】 1 そう思う 2 思わない 3 どちらともいえない
 【弁当箱タイプの給食の場合】 1 そう思う 2 思わない 3 どちらともいえない

VII 現在の中学校の昼食について、あなたのお考えをお伺いします。

問13 現在の中学校の昼食に関する、以下の事項についてお聞きします。

- (1) 食事時間が短いことは課題である。(あてはまるもの1つに○)
 1 そう思う 2 思わない 3 どちらともいえない
- (2) 栄養面に不安があることは課題である。(あてはまるもの1つに○)
 1 そう思う 2 思わない 3 どちらともいえない
- (3) 各生徒が違う食事のため、食事指導がしにくいことは課題である。(あてはまるもの1つに○)
 1 そう思う 2 思わない 3 どちらともいえない
- (4) 昼食を忘れた生徒や注文し忘れた生徒への対応が負担である。(あてはまるもの1つに○)
 1 そう思う 2 思わない 3 どちらともいえない

7

市民用

中学校の昼食（給食等）に関するアンケート

横須賀市教育委員会では、現在、市立中学校（23校）の生徒（約10,000人）の昼食（給食等）のあり方について、検討を進めています。
 この検討を進めるにあたっては、中学校給食に対して、様々なお立場の方から、広くお考えをお伺いしたたく、今回、保護者の方はもちろんですが、保護者以外の方も対象として、アンケート調査を実施いたします。
 つきましては、お忙しい所、恐縮に存じますが、ご協力をお願いいたします。

記入後、同封の返信用封筒に入れて、8月31日（月）までに郵便ポストに投函してください。

横須賀市教育委員会事務局学校教育部学校保健課

■ 回答をお願いする「あなた」のことについてお伺いします

問1 あなたの性別についてお聞きします。(下の回答欄に記入してください。)

回答欄

問2 あなたの年齢についてお聞きします。(あてはまるもの1つに○)

- 1 10歳代 2 20歳代 3 30歳代 4 40歳代
 5 50歳代 6 60歳代 7 70歳代以上

問3 あなたの職業についてお聞きします。(あてはまるもの1つに○)

- 1 勤めている（フルタイム）
 2 勤めている（パートタイム）
 3 家事専業
 4 学生
 5 無職
 6 その他（ ）

問4 あなたの今の今のお住まいには、以下にあてはまる子ども（子、孫）がいらっしゃいますか。
 (あてはまるものすべてに○)

- 1 未就学児・小学生
 2 中学生
 3 高校生以上の学生
 4 1～3にあてはまる子どもはいない

1

(5) 昼食を用意できずに食べられない生徒がいる。(あてはまるもの1つに○)

- 1 いる 2 いない 3 把握する機会がない

(6) 昼食に関して、生徒間で問題が起きることがある。(あてはまるもの1つに○)

- 1 ある（内容： ）
 2 ない
 3 把握する機会がない

(7) 上記の項目の他に、現在の中学校の昼食で課題と感じていることがありますか。
 (あてはまるもの1つに○)

- 1 ある（内容： ）
 2 ない

自由記入欄

ご協力ありがとうございました。

8

■ 中学校の昼食に対するあなたのお考えをお伺いします

基本情報1

現在の横須賀市立の中学校の昼食は以下のとおりです。

- ・「家庭で作った弁当」を持参することが基本
- ・「家庭で作った弁当」を持参できない場合は、学校で当日「業者弁当・パン」の注文が可能（学校によっては、コンビニエンスストアなどで購入したものを持参することも可）
- ・原則全員に牛乳を提供（ミルク給食）

I 横須賀市の中学校の昼食の基本になっている

「家庭で作った弁当」に対するあなたのお考えをお伺いします。

問5 「家庭で作った弁当」に関して、あなたが良いと思うことを、以下の項目から2つまで選び、該当する番号に○をしてください。

- 1 生徒が、普段食べ慣れているものを食べられること（食べ残しが少ない）
 2 生徒ごとに内容や分量が調整できること（食物アレルギー、個人の食べる量など）
 3 家族間の会話などコミュニケーションを取るきっかけになること
 4 生徒が、作った家族への感謝の心を持つこと
 5 給食のように生徒自身が盛り付けや後片付けをする必要がないこと
 6 昼休みや登下校の時間など、生徒の時間割に影響がないこと
 (※給食の場合、盛り付けや片付けのなど時間が必要になる)
 7 その他（ ）
 8 特にない

問6 「家庭で作った弁当」に関して、あなたが課題だと思うことを、以下の項目から2つまで選び、該当する番号に○をしてください。

- 1 弁当が冷めてしまうこと
 2 衛生面に不安があること（暑い時期の食中毒など）
 3 栄養バランスの面で心配なときがあること
 4 生徒間に違いがあること
 (※家庭環境により弁当を持参できない、内容が充実していないなど)
 5 家庭に負担がかかること（弁当を作ることなど）
 6 生徒に負担がかかること（手荷物が重くなることなど）
 7 その他（ ）
 8 特にない

2

基本情報 2

中学校の昼食に関して、他の自治体（市・町）では、「小学校のような給食」の方式で提供しているところもあります。

ここで言う「小学校のような給食」の方式とは、以下のとおりです。

- ・学校や教育委員会の栄養士が献立を作成する
- ・学校や給食センター（給食を大量に作る施設）で調理される
- ・食缶（クラス全員分の給食が入った容器）で教室まで運搬される
- ・生徒自身が教室で、皿に盛り付ける
- ・原則、全員が同じ食事内容

II 「小学校のような給食」の方式（※中学校で実施した場合）に対する、あなたの考えをお伺いします。

問7 「小学校のような給食」の方式について、あなたが良いと思うことを、以下の項目から2つまで選び、該当する番号に○をしてください。

- 1 適温（温かい・冷たい）で昼食が提供されること
- 2 衛生面の不安が少ないこと
- 3 栄養バランスの整った昼食が提供されること
- 4 昼食が平等に提供されること
- 5 家庭に負担がかからないこと（弁当を作ることなど）
- 6 盛り付けなどの共同作業を通じて、生徒の協調性が養われること
- 7 食育（食に関する知識や健全な食事のとり方など）に関心を持つようになること
- 8 その他（)
- 9 特にない

問8 「小学校のような給食」の方式について、あなたが課題だと思うことを、以下の項目から2つまで選び、該当する番号に○をしてください。

- 1 生徒が、苦手なものを食べなければならないこと（食べ残しが多くなる）
- 2 生徒ごとに内容や分量を調整するのが難しいこと（食物アレルギー、個人の食べる量など）
- 3 生徒が、盛り付けや後片付けをする必要があること
- 4 昼休みや登下校の時間など、生徒の時間割に影響が出る可能性があること（※盛り付けや片付けなどの時間が必要となるため）
- 5 給食費に関する問題が生じる可能性があること（未払い、支払い方法など）
- 6 もしも食中毒などが起きた場合、影響が大きくなる可能性があること
- 7 現在の「業者弁当・パン」が注文できなくなること
- 8 その他（)
- 9 特にない

3

IV 中学校の昼食方式に対する、あなたの考えをお伺いします。

問11 中学校の昼食として、あなたが良いと思う方式を、以下の項目から1つを選び、該当する番号に○をしてください。
なお、選択肢2および3については、下の枠内に参考情報を掲載しています。

- 1 現在の方式
（ミルク給食で、「家庭で作った弁当」と「業者弁当・パン」（当日注文）のどちらか）
- 2 「小学校のような給食」の方式
- 3 「弁当箱タイプの給食」（予約、前払い）と「家庭で作った弁当」を併用する方式
- 4 その他（)

【参考情報】

- 1 全国における中学校完全給食の実施率（平成25年5月1日時点の公立中学校）
86.0%（※「小学校のような給食」と「弁当箱タイプの給食」を合わせた実施率）
- 2 保護者が負担する給食費
選択肢2または3を実施した場合、保護者が負担する給食費は、1食あたり300円程度（牛乳代込）を想定しています。（就学援助に認定された場合などは減免措置があります。）
- 3 中学校完全給食を実施する場合に必要となる市の経費（試算）

実施方法	初期整備費	年間運営費
選択肢2 小学校のような給食	①中学校に給食室を作る場合	約96億円 約5.9億円
	②給食センターを作る場合	約71億円 約5.2億円
	③小学校の給食室を拡張する場合	約44億円 約6.8億円
選択肢3 弁当箱タイプの給食	約3億円	約4.2億円

※①～③はいずれも「小学校のような給食」を実施するための方式です。
※「弁当箱タイプの給食」は注文率が50%の場合の試算です。（注文率により金額が変わります。）
※必要経費は他都市の事例等を参考にした現時点での試算額です。実施する場合には、可能な限り費用を抑えるための検討をしていきます。
※①と②の初期整備費の一部は、国の補助金の対象となることを想定しています。
①約6億円 ②約5億円

基本情報 3

中学校の昼食に関して、他の自治体（市・町）では、「家庭で作った弁当」を持参する以外に、「弁当箱タイプの給食」をたのむことができるところもあります。

（※「家庭で作った弁当」か「弁当箱タイプの給食」のどちらかを選びます。）

「弁当箱タイプの給食」とは以下のとおりです。

- ・教育委員会の栄養士が献立を作成する
- ・給食を調理する施設で調理された弁当（一人分ずつ弁当箱で提供される）
- ・インターネットなどから予約が必要で、給食費は前払い

【弁当箱と汁物入れ（イメージ）】



III 「弁当箱タイプの給食」の方式（※中学校で実施した場合）に対する、あなたの考えをお伺いします。

問9 「弁当箱タイプの給食」について、あなたが良いと思うことを、以下の項目から2つまで選び、該当する番号に○をしてください。

- 1 「家庭で作った弁当」と選択できること
- 2 ごはんや汁物が、適温（温かい・冷たい）で提供されること
- 3 衛生面の不安が少ないこと
- 4 栄養バランスの整った昼食が提供されること
- 5 家庭に負担がかからないこと（弁当を作ることなど）
- 6 昼休みや登下校の時間など、生徒の時間割に影響が少ないこと（※「弁当箱タイプの給食」の場合、盛り付けの時間がない）
- 7 生徒が、食育（食に関する知識や健全な食事のとり方など）に関心を持つようになること
- 8 その他（)
- 9 特にない

問10 「弁当箱タイプの給食」について、あなたが課題だと思うことを、以下の項目から2つまで選び、該当する番号に○をしてください。

- 1 おかずは、適温（温かい・冷たい）での提供が難しいこと
- 2 生徒が、苦手なものを食べなければならないこと（食べ残しが多くなる）
- 3 生徒ごとに内容や分量の調整ができないこと（食物アレルギー、個人の食べる量など）
- 4 予約、前払いが必要なこと（当日の注文ができない）
- 5 もしも食中毒などが起きた場合、影響が大きくなる可能性があること
- 6 現在の「業者弁当・パン」が注文できなくなること
- 7 その他（)
- 8 特にない

4

V 中学校給食に対する、あなたの考えをお伺いします。

問12 横須賀市では現在、中学校では牛乳のみの給食で、完全給食（「小学校のような給食」や「弁当箱タイプの給食」）は実施していません。
あなたは、横須賀市の中学校での完全給食の実施についてどのように考えますか。
（あてはまるもの1つに○）

- 1 実施すべき
- 2 費用面や他の事業との優先順位を考慮して、実施するか決定すべき
- 3 実施すべきでない（ミルク給食のままでよい）
- 4 わからない
- 5 その他（)

自由記入欄

ご協力ありがとうございました。

（事務担当：学校教育部学校保健課給食係 直通046-822-8488）

※配布された生徒用アンケートの「VI」という表記が「IV」となっていたため、本報告書では修正しています。

中学校の昼食（給食等）に関するアンケート調査報告書

発行年月：平成 28 年（2016 年）2 月

編集・発行：横須賀市教育委員会事務局学校教育部学校保健課

〒238-8550 横須賀市小川町 11 番地

電話：046-822-8488 FAX：046-822-6849